

「産官学の連携」をキーワードに
学生の「やりたい」を叶える。



松井健斗さん(1994年生まれ)

名古屋市立山田高校 出身
愛知東邦大学 人間学部卒業

株式会社カナメヤ

名古屋市中区錦3-6-15先 中部電力 MIRAI TOWER 3F
https://kanameya-nagoya.info/

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→人材紹介サービス
会社入社→株式会社カナメヤ創業

— 学生時代

「名古屋市内全域の市立高校の『生徒会連盟』を創設し、東日本大震災へのボランティア活動をおこないました。他校との生徒会の会合が山田高校であったのですが、普段あまり交わる機会のない他校と連携して何か一つのができたなら面白いのではないかと思い提案しました。共感してくれる学校もあれば、中には温度差を感じる学校もあり、それぞれの高校をまとめるのには苦勞もありました。手書きの資料を持って一校一校まわるなどをして、想いを共有することで目標を実現することができました」

大学時代について教えてください。
「高校時代の経験もあり、大学ではやってみたいことがたくさんありました。その中の一つに愛知県中の大学祭や学生団体を集め、それぞれの活動の紹介をおこなう『NAGOYA学生EXPO』の開催という大きな夢もありました。大学在学中は、学生会長や大学祭実行委員長を2年連続で務め、大学×学生×地域の連携創出に尽力しておりました。愛知東邦大学は先生と学生の距離が近く、学生一人ひとりの相談や目標実現へのサポートをおこなってくれます。自分一人では実現が難しかったと思いますが、アドバイスや告知など率先して協力してくれました。愛知東邦大学だったからこそ、多くのことを実現することができたと思いますし、今の自分があるのだと思います」

— 仕事について

「2021年に株式会社カナメヤを創業いたしました。カナメヤでは『産官学の連携』(企業と官庁と学生)をした街づくりを目指し、県内に点在している学生団体をまとめる学生団体加盟制度を設けました」

仕事内容を簡単に教えてください。
「若者のやりたいことを企業や行政と繋げ実現させていくといったことをメインに取り組んでいます。最近ではSDGsの普及活動をおこなっているNPO法人と大学生のトークセッションの開催や、学生がもって選挙に参加したくなるような仕組みづくりを愛知東邦大学の学生たちとおこないました。また、名古屋市政からのプロポーザルを受け事業をおこなったり、カナメヤで活躍している学生を企業に紹介するサービスをおこなっていると考えております」

やりがい
「学生が楽しそうに活動している姿を見た時は嬉しく思います。また、カナメヤを通して学生の目標を叶えることができた時はやりがいを感じます。これからは、もっと多くの学生の『やりたい』を実現させるため、ITを活用し、『産官学の連携』という仕組みを名古屋から全国へ



「大人になった時、高校時代にこんなことをしたって誇れるようなことをしてほしいです。また、カナメヤでは大学生や高校生の方の夢や目標の実現のサポートをしています。何かやりたいけど、やり方がわからない、どんなことをすればいいのかわからない、そんな学生の『やりたい』を実現させるための活動をしていますので、少しでも興味がある方は各種SNSで構いませんのでご連絡ください！今しかできないことを一緒に叶えましょう！」

ありがとうございます。



18歳
↓
22歳
↓
28歳

名古屋市立高校生徒会連の創設。他校の生徒会と連携し東日本大震災に向けたボランティア活動をおこなう。
NAGOYA学生EXPO2014の開催など、学生団体の運営を中心に多岐にわたる活動をおこなう。
株式会社カナメヤを設立後、産官学の連携に尽力する。「青年版国民栄誉賞」にノミネートされる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



「美味しい」と言ってもらえたとき。
一番嬉しいのは、自分がつくったものを



坪川晴香さん(1997年生まれ)
名古屋市立西陵高校 出身
名古屋文理大学 健康生活学部卒業

松永製菓株式会社

小牧市大字西之島330
<https://www.matsunaga-seika.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学または専門学校を卒業→菓子メーカーに就職→企画開発チームに所属

— 学生時代

「小さいころの将来の夢はケーキ屋さん。食べることやお菓子が大好きで、パティシエになりたいと思ったこともあり。食品について学びたいと思っていたので、名古屋文理大学のフードビジネス学科に興味を持ち、オープンキャンパスへ。そこで体験した調理実習がとても楽しくて、進学を決めました」

大学時代に学んだことは？

「料理の実習や、食品栄養学など食に関する基礎知識のほか、お店を持つならこういう土地が良いなど、経営学的知識も学びました。好きだった授業は製菓実習とカフェ実習。ラテアートにも挑戦しました。プライベートでもドーナツ屋でアルバイトをしたり、週末に実習で習った料理を家でもう一度つくって家族に振る舞ったり、『食』に囲まれる毎日でした。就職活動では、パン・お菓子・レストランなどの食品業界の採用試験を受けました。ずっと憧れていた『お菓子づくり』に携われること、女性が多く会社の雰囲気やアットホームだったことに魅力を感じて、松永製菓への入社を決めました」

— 仕事について

「採用面接で『開発に携わりたい』と伝えたところ、約1ヶ月の現場研修の後、商品の企画開発チームに配属されました。普通の家庭では触れることがない大きなミキサーなどの機械に圧倒されながら、何度も試作を繰り返す日々が始まりました」



現在の仕事内容を教えてください。

「新商品開発は、営業さんから『こんな商品をつくってほしい』と依頼があることもあり、『今流行りのこの味で試作してみよう』と自分から発案することもあります。試作を何度も繰り返し、納得できる状態になったら、月に1回の社内会議で試食してもらいます。そこでOKが出れば、工場のラインで製造できるかどうかのテストがあり、問題がなければ商品化します。会議で通らなければまた試作の繰り返しです。他には、製品の原料や賞味期限などを詳しく記載した商品企画書や、製品をつくるのに必要な費用を示す原価計算書の作成業務もあります」

— やりがい

「先日、私が開発した新商品がはじめて製品化し、発売されました。1年近くかけて試作を繰り返した商品だったので、自分の考えたお菓子が工場のラインでつくられているのを見たときはとても感動しました。それでもやっぱり一番嬉しいのは、自分がつくったものを『美味しい』と言ってもらえたときですね」

— メッセージ

「お菓子の企画や開発の仕事をするのに、必要な資格は特にありませんが、お菓子や食品に関する知識がたくさんあると役に立ちますよ。また、お菓子の企画開発の仕事では、自分が試作したお菓子はもちろん、日頃からさまざまなものを食べて、味や食感などを考えるので、とにかく食べるのが好きな人が向いています。同時に、常にもっと美味しくするにはどうしたら良いかを繰り返し追求し続ける仕事なので、向上心も必要ですね」

ありがとうございました。



先輩

- 18歳 小さなころから食べるのが好きで、食品について学べる大学へ進学。
- 22歳 憧れのお菓子づくりに携われる松永製菓へ就職。企画開発チームへ。
- 26歳 さらに新商品の開発に向け、試行錯誤を重ねて試作を繰り返す日々。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



「絵の仕事で生きていく」と決意。
正解がないからこそ、妥協しない。



aoya さん (1995年生まれ)
名古屋市立工芸高校 出身
愛知教育大学 現代学芸課程造形文化コース卒業

aoya
<http://www.atelier-aoya.com/>

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→アルバイト先のアパレル企業に就職→バッグデザイナーになる夢を叶えて退職→絵を描く仕事で独立

— 学生時代

「高校3年間はソフトテニス部に打ち込み、副キャプテンを務めました。ソフトテニスは大学まで10年くらい活動。継続力、熱意をもってやりきること、人間関係の礼節が身につきました。ものづくりで生きていきたい。高校はインテリア科に進んだものの、しつくりこなくて。趣味でずっとデッサンをしていたことから、指定校推薦で愛知教育大学造形文化コースに進学しました」

「陶芸、ガラス、金工など、ものづくり全般を学びました。夏休みの2ヶ月間は、何かしら挑戦していました。1年は子どもの美術教室を開き、2年はキャンプリーダーに。3年は自転車の旅と、『名古屋バルコ』のセレクトショップで働きました。そのオリジナルブランドのバッグデザイナーになりたかったのですが、募集されていない職種で。社長に会える立場を考え、店長になることを目標にしました。4年は大阪店のインタールを自ら志願し、販売力を高めましたね」

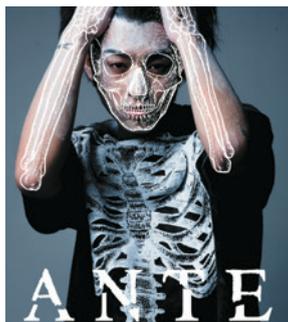
「卒業後はデザイナーの夢に向かい、勤めていたセレクトショップに就職。店長を2年務め、お客様の意見をもとに商品企画のアイデアを出したことも。名古屋の3店舗を任される立場になった後、新店舗の立ち上げを機に大阪へ異動し、念願のデザインチームに加入。ひたむきに仕事に向き合いながら、コロナ禍で

将来像を改めて考えるようになりました。夢の実現やこれまでの実績に辿り着く行動から、根拠のない自信が生まれ、『自分で表現したいことを自由にやりたい』と、絵を仕事にすると決意して退職しました」

「仕事内容を簡単に教えてください。」

「絵はほぼ独学、初めは仕事のマネもお金もないので、インスタグラムで作品を毎日投稿しました。半年経ったころにメッセージで少しずつ依頼をいただくように。作品から縁が広がり、official髭男dismファインクラブツアアの公式グッズ制作とイラストも担当。現在は主に、アパレルブランドやWebメディアのイラスト、結婚式のウエルカムボード、ゲームアプリのキャラクターなど、幅広く描きます。レイアウトの提案やロゴといったデザイナーの仕事も。今後は自分が得意な緻密でリアルな絵を追求したいです」

「細かい絵を描いているからこそ、ちょっとした甘い考えはわかるし、自分としても誇れないので、何事も妥協しない姿勢を大切に。時間をかけてやってきたことを評価しても



らえたり、商品を買ってくださったお客様から直接感謝されたりしたときはすごくうれしかったですね」

— メッセージ

「ものづくりの仕事は、クオリティさえ良ければいいというわけではなく、コミュニケーションが重要です。その人に仕事を頼む意味って、人間性もありますよね。今の時代、どんな人でも、誰かと関わらないことはありません。人との関わり合いを心から大事にしたら、自然と目標や仕事につながると思います。自己啓発本を読むのもいいかもしれません」

ありがとうございます。



自分探

18歳 「ものづくりで生きていく」という思いで、愛知教育大学造形文化コースへ。

25歳 バッグデザイナーになる夢を叶え、次の夢「絵の仕事」のために退職。

27歳 イラスト制作のほか、自身のアーティスト活動やアパレルブランドにも注力。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



スポーツを通して、自身の成長や達成感を感じてもらいたい。



廣川真由さん(1995年生まれ)
 名古屋市立緑高校 出身
 東海学園大学 スポーツ健康科学部卒業

株式会社コパン

名古屋市緑区桶狭間西1120(コパンスポーツクラブ緑)
<https://www.copin.co.jp/>

●主な道路 / 高校卒業→大学に進学し、スポーツに関する
 ことを学ぶ→スポーツクラブを運営する企業に就職
 なるためには

—学生時代

「バスケットボール部に所属し、部活中心の高校生活でした。部活を通して学んだのは、あきらめないことの大切さ。試合に出られない時期もありましたが、あきらめずに努力し、2年の後半から出場できるようになりました。ダンスを習っていたこともあり、将来はダンスインストラクターなど人前で指導する仕事に就きたいと思っていました」

—大学時代について教えてください。

「高校卒業後、東海学園大学に進学しました。体育の教員免許が取得できることや、オープンキャンパスの雰囲気にも惹かれたことがきっかけです。講義では、順序立てて指導する方法や授業の作り方などを学びました。それらは、インストラクターとして働く今にも活かされています。あとは、大学の教育理念である『共生(ともいき)』について学んだことも印象に残っています。生徒に対する接し方で大切だと感じたのは、否定から入らないこと。まず生徒のいいところを言って、そのあとに直した方がいいところを、もっとこうするといいいねと伝える。それは、現在の仕事でも心がけています」

—仕事について

「スポーツクラブやスイミングスクールなどを展開する株式会社コパンに就職しました。説明会に参加し、楽しそうな雰囲気にも惹かれたことが入社を決めました。1年目は、幼稚園児など小さい子どもたち



のプールのクラスを担当しました。最初は、顔をつけたり水に慣れるところから、泳ぎ方を指導するというよりは、とにかく楽しんでもらうことを心がけました」

—仕事内容を簡単に教えてください。

「0歳から90歳までの幅広い年代の方に、スタジオレッスンや水泳指導、最近ではチャアダンスの指導なども行っています。また、インストラクターとしての仕事以外にも、プールの水質管理や売上管理、スタッフのソフト管理などスポーツクラブ全体の運営まで幅広く仕事を任せてもらっています」

—やりがい

「子どもたちの成長を保護者の方から『ありがとう』と聞いて、嬉しくなりました。『できるようになるのがうれしいです。人前が出るのが苦手だった子が、チャアダンスで賞状をもらったりと、この仕事は生徒の成長が目に見えてわかるのがやりがいです。経験を積み、先輩にも気を配れて、生徒に『スポーツが楽しい!』と思ってもらえるように今後も頑張っていきたいと思います」

—メッセージ

「体を動かすことが好きな人、人と関わることが好きな人に向いている仕事です。コミュニケーション力が大事ですね。あとは、素直な気持ちさえあればなんとかなると思いますよ。私は、バスケットボールやダンスをやっていたこと、体育教員免許を取得したことなど、これまでの経験がすべて今につながっていると感じます。無駄な経験なんてひとつもないと思うので、みなさんも何か頑張れるものを見つけて全力で楽しんで欲しいです!」



自分史

18歳 バスケットボール中心の高校生活。あきらめないことの大切さを学ぶ。
 ↓
 22歳 東海学園大学に進学し、体育教員免許を取得。卒業後、コパンに就職。
 ↓
 26歳 日々の仕事を通して、スポーツの楽しさを伝える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!
<http://amb100search.com>



MUHIでしか作れない
オンリーワン商品の提案。



小曾根悠太 さん(1997年生まれ)

翔凜高校 出身
二松学舎大学 国際政治経済学部卒業

株式会社 池田模範堂

名古屋市千種区今池 3-26-22
<https://www.ikedamohando.co.jp/>

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→株式会社 池田模範堂入社

— 学生時代

「高校時代は野球部に所属しており、野球中心の生活をしていました。3年間やり切ったということは自信の一つです。特に練習などではメモを取るように指示をされました。社会人になった今でも自然とメモを取る習慣が身についており、大きな学びになったと思っています」

大学時代について教えてください。

「将来に向けた幅広い選択肢を残したい」と思い、二松学舎大学の国際政治経済学部に入學しました。二松学舎大学では、英語、政治、経済、教員になるための授業など、多くの分野について学ぶことができているのが魅力です。将来自分がどうなりたいか、しっかり考えることができます。また、野球部の部長を務めることもできました。チームメイトの意見をまとめたり、練習や試合日程を調整するなどチームの運営に携わることができました。授業も部活動も社会に生かせる充実した大学生活を過ごすことができましたと思います。また、就職のサポートがとても充実していたと思います。新卒の就職活動は今しか経験できないことなので楽しんでやるようにと背中を押していました」

— 仕事について

「弊社では『MUHI』を取り扱っており、MUHIというブランド

— やりがい

「売上等の目標を達成した時にやりがいを感じます。年間目標の達成に向けて計画的な業務の取り組みを進めることが重要になってきます。長い時間をかけて数字を積み重ねていくため、達成した時にはやりがいを感じます」



「一部活動や学校行事、また友達と遊ぶことも含めて、学生時代にできないような様々な経験を全力で楽しんで社会人になってほしいと思います。その中から色んなことに興味をもってください。自分の選択肢をたくさんもち、できる限りベストな選択をしてください」

ありがとうございます。

18歳 野球中心の高校時代を過ごす。3年間やり切ることによって大きな自信をもつ。
22歳 大学時代は野球部の部長としてチームをまとめる。MUHIというブランド力に魅力を感じ池田模範堂へ入社。
25歳 商談や店頭売り場の作成をおこない年間目標の達成に挑み続ける。



先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





スポーツ選手の仕事とは？
「プレーを通して人の心を動かすこと。それがスポーツ選手の仕事だと思えます。あるとき、試合を見に来た高校時代の友達から、『すごかった。まだ現役であんな厳しい世界で頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうって思えたよ』と連絡がきたんです。その連絡をもらったときに、友達にそういう風に感じてもらえたことがうれしかったですし、応援してくれるファンの人たちにも同じ気持ちになってもらいたいと思うようになりました。私が頑張る姿を見て、『自分も頑張ろう！』と思ってもらいたいですね」
「日々心がけていることは？」
「自分のためにじゃなくて『チームのために』という気持ちは常に忘れないようにしています。あと

は、チームとして、いつ誰が出場しても同じ技量で試合ができるように心がけています。どのタイミングで任されても、何かやってくれるんじゃないかというワクワク感をみながら、自分もスターでも常にアンテナを張っています」
——挫折を経験——
「シャイニングベガに入ってから1、2年はあまり試合に出られない日々が続きました。いままでは常に試合に出ていて、それが当たり前前の環境だったので、その時期はなかなかきつかったですね。でもそれがきつ

「みなさんも、もしかしたら受験勉強や部活で挫折をすることがあるかもしれません。そのとき、何かを理由にして言い訳をするのではなく、自分としっかり向き合っているか、きつことを全部やるのが大切。『今日一日に後悔はなかったか？』『まだできることがあるんじゃないか？』と考えるながら前に進んでいくください」
——やりがい——
「試合に勝ったときはもちろんうれしいですが、試合後に会社でいろいろな人から『おめでとう！』とか『おつかれさま』と声をかけてもらえることもうれしいですね。いまま

かけて、いままでベンチで声を出して応援してくれていたメンバー、サポートをしてくれていた人たちの気持ちが変わってわかりました。あとは、下積みした分だけ、成長につながっていることも実感しています。あつと、毎日バッティング練習や自主練習をしていて本場によかったです。1年目からずっと試合に出続けていたら、まわりの人のことを考えられない人間になっていたかもしれません。試合には出られませんが、決して無駄な時間ではなかったですね」
前向きに挫折を乗り越えられたんですね。
「みなさんも、もしかしたら受験勉強や部活で挫折をすることがあるかもしれません。そのとき、何かを理由にして言い訳をするのではなく、自分としっかり向き合っているか、きつことを全部やるのが大切。『今日一日に後悔はなかったか？』『まだできることがあるんじゃないか？』と考えるながら前に進んでいくください」

「足が速い遅い、力があるない、そういうことは関係なく、自分の強みをいかして輝ける場所があるのがソフトボールです。ホームランを打ったからすごいというわけではなく、足が速い選手、バントが上手な選手、一人ひとりのよさをぜひ見てもらいたいですね」
——メッセージ——
「ソフトボール選手になるには、チームに声をかけてもらうか、セレクションに合格して入団するかのどちらかですね。最近はセレクショ

で話したこともない人が、私の知らないところまでたくさん応援してくれていることを知ったときにもやりがいを感ずります。心が温かくなりました。ソフトボールをしていなかったら、こんなに多くの人と話をしていないと思いますし、これから頑張ろうというモチベーションにつながっています」
ソフトボールの魅力とは？
「足が速い遅い、力があるない、そういうことは関係なく、自分の強みをいかして輝ける場所があるのがソフトボールです。ホームランを打ったからすごいというわけではなく、足が速い選手、バントが上手な選手、一人ひとりのよさをぜひ見てもらいたいですね」



田井亜加音さん(1994年生まれ)
東海学園高校 出身 園田学園女子大学 卒業



12歳 ↓
日本代表に選出され、海外の強豪チームとの試合を経験。
22歳 ↓
大学日本代表として第5回東アジアカップ準優勝を経験。卒業後、シャイニングベガに所属。
27歳 ↓
自分の強みをいかしたプレーを心がけ、チーム一丸となって勝利をめざす。

ンで入団する選手が多い気がしますが、選手の能力も重要ですが、『左利きのファーストがほしい』とか『バントができる選手がほしい』とか、チームがどんな選手を求めているかも重要です」
高校生へ伝えたいことは？
「高校時代をやっていることは、何年後に自分の糧になってつながるときがきつとききます。苦しいときに楽な道に流れるのではなく、未来の自分のため、支えてくれた人たちのためだと思って、壁を乗り越えられるように頑張ってください」
ありがとうございました。

想いを形に、
全力でやりきる



名古屋出身の有名人インタビュー

東海学園高校出身のソフトボール選手、田井亜加音さんを独占取材！

小学生のときに日本代表に初選出されて海外チームと戦い、世界の広さを実感。そのときは勝敗よりも、まだまだ上をめざせることにワクワクしたそうです。常に向上心をもって何事にも全力で取り組む田井選手に、ソフトボールの魅力、スポーツを通して伝えたいことを聞いてきました。

——ソフトボール人生——
「友達に誘われて少年野球に入ったのが、野球(ソフトボール)との出会いです。最初は、単純に野球って楽しいなって感じてました。チームスポーツだと思われがちですが、意外に個人プレーが重要な側面もあって、頑張った分だけそれが自分の成長結果につながるころにも魅力を感じていました。野球からソフトボールに転身したのは、中学の部活からです」
ずっと続けようと思ったターニングポイントはありますか？
「小学6年生のときに、日本代表に選出されたんです。台湾で海外のチームと試合をする機会があり、『野球を通して世界ってこんなに広がるんだ』という驚きがありました。世界にはいろんな選手がいることを知り、まだまだ上には上がいるということも実感しました。強豪チームと試合をすること自体がワクワクして、不思議とヒットを打たれても楽しかったですね。もっとうまくなりたいという気持ちが強くなりました」
高校時代について教えてください。
「2年の夏の総体予選が、良くも悪くも一番印象に残っています。先輩たちにとっては最後の大会。東海学園高校は全国大会の常連校だったので、緊迫した決勝の試合で私の送球ミスで負けしてしまいました…。試合後、先輩が『あそこであんなのは仕方ないよ。あとは任せな』と声をかけてくれて…。先輩は

もう部活でソフトをできないのに、『あとは任せな』ってなかなか言えないよなと思ひ、先輩の心の広さにくやしい思いが込み上げてきました。普段はとても厳しい先輩だったので、なおさらですね。次の年の春の選抜では全国大会で優勝することができ、先輩たちから『おめでとう！』と声をかけてもらえたので、くやしさをバネに頑張った努力が報われた大会でした」
大学時代について教えてください。
「園田学園女子大学の人間健康学部に進学しました。ソフトボールを続けながら、教育実習にも行って体育の教員免許を取得しました。大学生活を通し、同級生のおかげで人的に成長できたと思います。プレーのこともプライベートのことも、他人と関わっていることを言い合うことの大切さを実感しました。自分が思っていることを相手にしっかりと伝える、相手が思っていることを受け止める。これは、現在も心がけています」
——選手として——
「現在は、大学時代から練習に参加していた豊田自動織機シャイニングベガでプレーしています。シャイニングベガは、『考えるチーム』なんです。大学も、指示通りに動くだけでなく自分で考えること、自分たちで答えを出すことを大切にしているチームでした。そこに似たものを感じ、自分の強みをいかせると思い、シャイニングベガに所属しました。現在6年目です」

百聞で一見を得る不断の努力。
市民のみならず命と財産を守る。



名古屋市消防局

笠井雄生さん(1996年生まれ)
名古屋国際高校 出身
東海学園大学 スポーツ健康科学部卒業

名古屋市消防局

名古屋市中区三の丸 3-1-1
<https://twitter.com/NagoyaShobo>

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学→名古屋市職員採用試験に合格→名古屋市消防学校に入校→各消防署に配属

— 学生時代

「高校時代は、部活動に打ち込んでいました。名古屋国際高校へ進学を決めたのも、そこで野球をやりたいからで、キャッチャーとして毎日の練習に励んでいました」

「大学時代について教えてください。」

「大学は、部活動の推薦で東海学園大学に入学しました。スポーツ健康科学部だったので、解剖生理学や運動生理学、バイオメカニクスなどに身体のことについて学びました。大学でも部活動に打ち込んでいましたが、3年のときにケガをしてしまい、部活動が続けられなくなりました。途中で断念するかたちでしたが、チーム内のコミュニケーションや協調性を学ぶことができ、この仕事にもいかされていると思います」

— 仕事について

「友人が消防官をめざしているとき、興味を持ち始めたのがきっかけで採用試験の勉強を始めました。採用試験までのあいだ、大学生活と試験勉強を両立しながら一生懸命取り組みました。私は、やってみたいと思ったことは実際にやらないと気が済まない性格で、大変そうだなと思って1回は挑戦するようにしています。今でも、その気持ちは忘れています」

「仕事を簡単に教えてください。」

「まずは消防学校で半年間訓練をし、訓練を終えると消防署での勤務がスタートします。消防官としての仕事は、災害から市民の皆さんの命



— メッセージ

「消防官になるには、市町村単位で実施される職員採用試験に合格する必要があります。筆記や面接など大変なこともあります。まずは採用試験を通過しないことには始まりませんが、よく百聞は一見に如かずといいますが、裏を返せば100回勉強すれば1回現場を学べるという解釈もできます。機会が回ってくるのを待っているのではなく、今できることを一生懸命やるのが大切だと思います。皆さんも、何でもいいので行動を起こし、頑張ったと見えるものを見つけてください！」

「やりがいを感じるのには、やっぱり市民の皆さんから感謝の言葉を掛けていただいたときです。災害現場はパニック状態になっていることが多々あるので、私たちが到着したあとは安心してもらえるように努めます。現場が落ち着いたあと、「ありがとう」という言葉を掛けていただいたときには、『この仕事を選んでよかった。自分たちの活動には意味があったんだ』とうれしい気持ちになりますね」

— やりがい

18歳 高校卒業後、東海学園大学に進学。野球に打ち込む。
22歳 名古屋市職員採用試験に合格。消防官としての道を歩み始める。
25歳 出勤がない日も点検や訓練を欠かさずおこない、災害から市民の皆さんの命や財産を守る。



先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



自国の文化を海外に発信できる人、
それが私の理想とする国際人。



長屋 愛さん (1989年生まれ)

桜花学園高校 出身 玉川大学 文学部卒業

株式会社僕らのゆめ
bokuranoyume next trip

名古屋市長区東桜1-10-29 パークサイドビル栄B1
<https://www.bokuranoyume.com/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 海外生活を体験→高校卒業→大学に進学→着物を販売する企業に就職→着物アドバイザー

— 学生時代

「印象に残っているのは、高校生のときにオーストラリアへ留学をしたことです。同じ学校に留学していた同級生が現地の子よりもいい点数をとっているのを見て、「失敗をまわりの環境のせいにするのは違う」という思いが芽生えました。その子がいなかったら、日本人だから仕方がないという甘えが出ていた気がします。海外生活を通して、日本文化がいかに世界で評価されているのかを知り、自国の文化を海外に発信できる人になりたいと思うようになりまし。それが私の理想とする国際人だと気づいたんです」

— 仕事について

「日本文化に携わって長く活躍できる場所を探し、bokuranoyume next trip に就職しました。面接をしてくれた専務がおもしろかったことや、おしゃれな着物がたくさんあって働いている人たちが輝いて見えたのも惹かれたポイントです。最初は、着物の知識よりもお客様との接し方について教わりまし。まずはお店のファンを増やすことが大切。着物の種類や格、生地、染め方や柄についてなど、業界の知識は仕事をしながら覚えていく感じですね。働くなかで感じたのは、着物って想像以上にいろんなところに着ていけるものなんだということ。もっとファッション感覚で着ていけばよかったですね」と

現在の仕事内容を教えてください。
「着物の捉え方って、人によっては



— なるためには

「いろんなお客様と長い時間を一緒に過ごすので、着物に限らずいろんな知識をもっていると話をするうえで役立つと思います。いろんなことに興味をもつて世界を広げてください。私は、アニメから音楽、歌舞伎、ミュージカルなど本当にいろんなジャンルに興味があります。みなさんも、ひとつのことに集中して知識をつけるのではなく、自分のコミュニケーションを広げてください。自分と違う環境の人たちとの関わりを増やすことも視野を広げるうえで大切だと思いますよ」

「とあるお客様から、『いままで趣味がなかったから着物に出会えて本当によかった。ありがと〜』と言われたときはうれしかったですね。うれしくてちょっぴり泣きました。着物でここへ行ったよ』って写真を送ってくれるので、そんなお客様とのやりとりもやりがいにつながっています。お客様との距離が近いのもこのお店の魅力。なかなかそういう業界って少ないと思うので、着物という共通点で輪が広がっていくすてきなお店だと思います」

— やりがい

「とあるお客様から、『いままで趣味がなかったから着物に出会えて本当によかった。ありがと〜』と言われたときはうれしかったですね。うれしくてちょっぴり泣きました。着物でここへ行ったよ』って写真を送ってくれるので、そんなお客様とのやりとりもやりがいにつながっています。お客様との距離が近いのもこのお店の魅力。なかなかそういう業界って少ないと思うので、着物という共通点で輪が広がっていくすてきなお店だと思います」



海外
経験

17歳 オーストラリアへの語学留学を経験し、多様な価値観を養う。

27歳 グランドスタッフなどの仕事をを経て、株式会社僕らのゆめに就職。

31歳 常に笑顔心がけ、着物や日本文化の魅力を発信！

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



犯罪の取り締まりや防犯対策で、地域の安全を守ることが私たちの使命。



三原健太郎さん (1992年生まれ)

出身
惟信高校
愛知学院大学 総合政策学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸2-1-1
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→生活安全課に配属

——学生時代

「高校時代は、サッカー部に所属して毎日練習に励んでいました。スポーツを通して、体力だけでなく精神力も鍛えられたと思います。将来については明確に決めていなかったので、様々な分野を学べる愛知学院大学総合政策学部に進学を決めました」

大学時代について教えてください。

「自動車免許を取得して運転するようになる、想像以上に交通違反が多いことに気づきました。重大な事故を引き起こす可能性もあるのに、なぜ違反をするのか、悲惨なニュースを聞いても自分が何もできない現状に悔しい気持ちが生まれ、警察官を志すようになりました。大学3年次から公務員試験対策講座を受講し、キャリアセンターでは面接の練習や試験対策などを親身に相談に乗っていただきました。特に歴代合格者の例など、経験に基づいた具体的なアドバイスは試験に役立ちました。警視庁と愛知県警察の両方を受験し合格しましたが、自分の大切な人たちが住む地元を守りたいという気持ちがあり、最終的には愛知県警察に入ることを決めました」

——仕事について

「警察学校には6か月の間入校し、警察官に必要な法律の知識や剣道・柔道・逮捕術等を学び、基礎体力づくりも頑張りました。警察学校を卒業し、交番勤務を経験した後は、自動車警ら隊、特別警戒隊と、様々な部署を経て、現在は中警察署生活安全課で勤務しています」

——やりがい

「やはり、捜査をして犯人を捕まえたときに一番やりがいを感じます。毎回現行犯で逮捕できるわけではないため、逃げた犯人をそのままにしておくという結果として治安が悪化してしまう危険もあります。そうならないよう、警察が捜査をして犯罪者を取締まり、地域のみなさんが安心して暮らせる安全な世の中にするのが私たちの使命だと考えています」



全課で勤務しています

現在の仕事内容を教えてください。

「DVやストーカー被害、性犯罪をはじめとした、日々身近なところで発生している犯罪の取締りや防犯対策など、仕事内容は多岐に渡ります。以前特別警戒隊で勤務していた際に、被災地に派遣されて救助活動をしたことがあります。過酷な現場に心身ともに疲弊しましたが、そのときに先輩から、『どんな状況でもご遺族の前で感情を出さないように』と教わりました。そのため、日々、警察官として働く姿を県民の方に誇れるかを意識して業務にあたっています」

——メッセージ

18歳 サッカー部に所属し、スポーツを通して精神的な強さを学ぶ。
22歳 愛知学院大学に進学し、公務員試験対策講座を受講。
29歳 中警察署の生活安全課にて、日々犯罪の取締りや防犯対策に励む。



先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



災害派遣に行ったとき、日々の練成が誰かの役に立ったことを実感。



加賀誉大さん (1995年生まれ)

瑞穂高校 出身
中部大学 生命健康科学部卒業

第35普通科連隊

名古屋守山区守山3(陸上自衛隊守山駐屯地)
<https://www.mod.go.jp/gsd/mae/10d/butai/butai/35i>

なるためには

●主な進路 / 高校・一般大学卒業→一般曹候補生・自衛官候補生として自衛隊に入隊
または、一般大学・防衛大学校等を卒業→幹部候補生から自衛隊の幹部として入隊

——学生時代

「高校時代は水泳部に所属していました。そこで仲間たちと一緒に、1秒でもタイムを縮められるように練習に取り組んだことを鮮明に覚えています。当時は漠然と救急救命士になりたいと思っていたので、中部大学のスポーツ保健医療学科に進学しました」

大学時代について教えてください。

「救急救命の専門知識、健康増進に有用なスポーツ指導について、身体の仕組み、保健医療の基本や救急医学などの医療分野を勉強しました。心肺蘇生やAEDの扱い方なども学び、上級救命講習や公認障がい者スポーツ指導者資格を取得しました。自衛官をめざしたきっかけは、大学主催の合同説明会です。自衛隊の広報官から災害派遣や国際協力など、様々な場面で活躍をしている自衛隊の話聞き、私も誰かのために働きたいと思うようになりました」

——仕事について

「入隊後、半年間は、小銃の扱い方や部隊で働くうえで必要な知識など、自衛官としての基礎を学びます。教育係の班長は、知識量も人としての魅力もあり、この人のもとで働きたいと思えるような方でした。すばらしい先輩たちの良いところを盗んで、私も後輩を惹きつけられる立派な自衛官になりたいと思っています」

現在の仕事内容を教えてください。

「陸上自衛隊には様々な職種があり



——メッセージ

「自衛官候補生や幹部候補生など、採用試験にも様々な種類があります。自衛隊も陸上・海上・航空自衛隊に分かれています。まずは、合格したあとに自分がどのような形で働きたいかを考えておくことが大切です。地元で働きたいのか、どんな職種に就きたいのかを明確にしておくことです。市町村ごとに自衛隊愛知地方協力本部の担当者がいまいますので、心配なことや分からないことを詳しく教えてもらえます。私も大学時代によく相談に行っていたのでぜひ活用してみてください。ありがとうございます。」

具体的に出動したエピソードはありますか？

「豚コレラの災害派遣に4回行ったことがあります。獣医師は豚の対処にあたるので、私たちは豚が逃げないように仲間と連携して業務に取り組みました。私たちの仕事は、チームワークや連携がとても大事です。そのためにも、生活を共にする仲間と普段からコミュニケーションをとるよう心がけています」

——やりのが

「災害派遣に行ったとき、今までの練成が誰かの役に立ったことを実感することができました。それが自信にもつながっています。現場で感謝の言葉をいただけた時もうれしかったですね」



18歳

↓

22歳

↓

26歳

水泳部に所属し、部活に熱中した高校時代。卒業後、中部大学に進学。

救急救命の知識、スポーツ指導や医療の知識を学ぶ。

普通科連隊に所属し、仲間と連携して日々の任務に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



本物のお茶の良さをお伝えしながら、お茶のファンを作り、文化を守る。



田中良知さん(1979年生まれ)
名古屋学院高校(現:名古屋高校) 出身

株式会社妙香園
名古屋市熱田区沢上2-5-6
<https://myokoen.com/>

なるためには
●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→「妙香園」に入社→店舗、営業、製造工場の全部署を10年間で経験→役員になり、経営に関わる→4代目社長に就任

— 学生時代

「中高一貫校で6年間お世話になりました。高校に通う目的は『楽しむため』『友達に会うため』。部活には入らず、バンドやビリヤードに熱中し、恋愛もしました。友人はいまでも関係が続ぎ、家族が増え、役職に就いても気兼ねなく話ができるありがたい存在です。また、在校生には地場で商売を営む家系が多く、経営者の同級生や先輩、後輩という人脈は、仕事にもいかされています」

— 進路選択について教えてください。

「高校卒業後は、祖父が社長を務める『妙香園』に入社。父が独立起業し、いずれは自分が後継者になる意識は幼少期からありました。多感な思春期には敷かれたレールを歩むのかと悩みましたが、接客や人と関わることを、お茶が好きだったので、心境の変化とともに『やりたい』という思いが高まり、力不足で大学受験に失敗したときに、迷いなく就職を選びました。確か500人くらいの卒業生の中で、高卒は私一人。コンプレックスはありましたが、働くうちに『みんなより早く社会に出た』とプラス思考になりましたね」

— 仕事について

「最初の10年間で、店舗、営業、製造工場の全部署を経験。営業では、お客様と1対1で話せる自分の引き出しが必要です。大学講師やお茶の淹れ方を説明する機会も増え、お茶の歴史や文化、健康効果などの知識を深めるために勉強するようになり、いまでも学んでいます」



— 仕事内容を簡単に教えてください。

「創業以来『良いお茶は心を潤す』の意味が込められた『茗茶潤心(めいちやじゅんしん)』という言葉を守り、香りと味と色にこだわった日本茶をお届けしています。私が入社して24年経ち、ライフスタイルは大きく変わりました。専門店が本当のお茶のおいしさ、楽しみ方、かつこよさを伝えていかないと、文化がなくなる危機感があります。そのため、本物の製法で作ったお茶をカジュアルに楽しめる取り組みを展開。抹茶フラテやほうじ茶フラテのテイクアウト専門店を『サカエチカ』にオープンしたり、ユニークなコラボ企画をおこなったり。お茶に興味を持っていただき、自宅でお茶を淹れて飲む日常が広まったらうれしいです。地元発の最高級品『名古屋ほうじ茶 燻(らん)』も発売しました」

— やりがい

「お茶文化の灯を絶やさないために、専門店の使命は大きいです。名古屋は昔から茶の湯が盛んな土地。東京や大阪のお茶屋さんが来店されると、『こんなに洋服のお客様が抹茶を買いに来られるの?』と驚かれます。会社が100年続いたの

は、地域のおかげ。2013年、熱田区の老舗企業の皆様とともに、『あつた宮宿会』を設立しました。地元を盛り上げ、国内外に魅力を発信します」

— メッセージ

「学生時代に地元の良さを吸収してほしいですね。それは人の良さでもあるので、友人を大切に。そして、まさに疑問や興味をもってください。徳川家康も織田信長も豊臣秀吉も愛知出身の理由は? 地名の由来は? と何でもいいです。まちを知ると、誇れる企業も多くあり、ここで働く意味が深くなると思います。ありがとうございます。」



18歳 高校卒業とともに、大正5年創業の自家製 家業のお茶専門店「妙香園」で働く。
29歳 全部署の経験と実績を積み重ね、役員になる。「名古屋青年会議所」に入会。
41歳 社長就任。栄・豊田でお茶のテイクアウト店を開業し、挑戦を続ける。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!
<http://amb100search.com>

